

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」 受け入れについて

山九株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村公大）は 12 月 1 日、一般財団法人日本国際協力センター（以下、JICE）より「JENESYS2017」の参加者を受け入れ、研修を実施いたしました。

このプログラムは日本の物流体系を学ぶことを目的としており、当社のアジア地域での展開が評価され、JICE より受け入れ先として選出されました。今回、東南アジア各国から訪日した 30 名（カンボジア：6 名、タイ：6 名、ベトナム：6 名、ミャンマー：6 名、ラオス：6 名）を受け入れ、当社の事業概要、港湾業務に関する研修や、実際の現場である横浜港本牧ふ頭ターミナルの見学ツアーを開催しました。

今後も山九グループは、アジア地域事業の発展に貢献してまいります。



研修の様子



見学ツアーの様子
(横浜港本牧ふ頭ターミナル)

「JENESYS2017」とは

日本政府が推進する国際交流事業である「対日理解促進交流プログラム」のアジア大洋州地域を対象とした交流事業で、人的交流を通じて対日理解の促進を図るとともに、対外発信力を有する業界関係者等を招聘し、日本の多様な魅力を発信してもらうことを目的としたプログラム。